

大会名称: 第23回FIBA ASIA U-18男子バスケットボール選手権大会

開催場所: Al Gharafa Sports Club (カタール・ドーハ)

試合区分: No. 133 男子 2次ラウンド・グループF コミッショナー: SORIA Daniel Danilo

期 日: 2014(H26)年8月24日(日)

主審: YAN Jun

開始時間: 11:00

副審: AL-KUWARI Bakr Abdulla, YANTE Reynaldo

終了時間: 12:30

|                   |         |  |         |                |
|-------------------|---------|--|---------|----------------|
| クウェート<br>(通算0勝5敗) | ●<br>55 | 17 -1st- 15<br>13 -2nd- 27<br>17 -3rd- 17<br>8 -4th- 27<br>-OT1-<br>-OT2-<br>-OT3- | ○<br>86 | 日本<br>(通算4勝2敗) |
|-------------------|---------|--|---------|----------------|

第23回FIBA ASIA U-18男子バスケットボール選手権大会。日本は、2次リーグ3試合目となる最終戦をグループC3位クウェートと対戦。

#### 第1ピリオド

日本はマンツーマン、クウェートは2-3ゾーンでクウェートボールでスタート。クウェート#15Hassainの外れたシュートを#13Yousefがリバウンドを取って押し込み先制するが、日本は#13渡辺がすぐさまファールをもらい、フリースローを2本決める。その後、怪我のため出遅れていた#5角野がハイポストからジャンプシュート、さらに#11山梨も決めて先行するも、クウェートは#6Hasan、#13Yousefがドライブインを決めてついてくる。残り1分15秒、クウェート#8Maitwaliが3Pを決めると13-15と逆転される。最後は15-17とクウェート2点リードで終了する。

#### 第2ピリオド

日本は#4津山がペネトレイトして#13渡辺に合わせ決め同点に追いつくと、再び#13渡辺がリバウンドを押し込む。続いて#5角野が外から連続得点、さらにクウェートのターンオーバーから#4津山が走り得点。開始4分10秒で25-19と少しずつ差を広げる。クウェートタイムアウト後、日本はメンバーを変えて2-3ゾーンをする。#15三上が3本連続で3P、#12鶴田がハイポストからジャンプシュート、そして再び#15三上が3Pを決め、さらに差を広げる。クウェートは#11Sebzaliがブザービーターで3Pを決めるも42-30、日本12点リードで終了。

#### 第3ピリオド

開始直後、クウェート#9Alyahyouth、#6Hasanにフリースローを与えるが#5角野が3Pを含む連続得点で差を詰めさせない。クウェートも#9Alyahyouthが3P、#6Hasanがジャンプシュートを決めついていく。日本は#9青木が交代してすぐにブレイクからゴール下で力強くシュートにいて連続で得点すると残り4分24秒で59-39と日本のリードは広がる。しかし、クウェートは、#9Alyahyouthがペイント内で粘って得点を重ね59-47まで詰めて終了する。

#### 第4ピリオド

クウェートは#15Hassain、#6Hasan、#5Almutairiらが得点をするもここまでで止まってしまふ。日本は、クウェートの2-3ゾーンを崩し外からシュートを打ち、#15三上、#6本村、#8内田が次々と3Pを沈め、点差を広げる。第4ピリオドだけで27-8と大量リードを奪った日本が81-55で勝利し、2次リーググループFを3勝2敗の3位で終えた。

この結果、明日の休息日の後、決勝トーナメント1回戦で2次リーググループE2位の韓国との対戦が決まった。

次戦は、1日の休息日をはさみ、8月26日(火) 13:00(現地時間)より準々決勝は、2次ラウンドグループE2位の韓国と対戦する。

担当: 公益財団法人日本バスケットボール協会